

自主防災組織に関するアンケート

令和2年5月

龍ヶ崎市自主防災組織連絡協議会

はじめに

この度は「自主防災組織活動に関するアンケート」にご協力いただき誠にありがとうございました。これまで、龍ヶ崎市が定期的実施している市民アンケート等で各家庭の防災対策については現状を把握しているところではありますが、市内全域の自主防災組織活動に関しては、活動実態を調査したことがなかったため、市内177の自主防災組織の皆さまにご協力をいただきアンケート調査を実施したところです。

平成23年の東日本大震災や今年の台風のような甚大な自然災害に対して、私たち自主防災組織は「備える」ことしかできません。災害はいつ・どこで起きるか分かりませんので、災害への備えは「いま」やらなければなりません。

しかし、アンケート結果を見ると、自主防災組織を結成したものの、結成後に防災活動をしていない地域も少なからずあることが分かります。私が申し上げたいのは、防災活動を営んでいない地域が「怠慢である」ということではなく、そこには活動に至らない理由があるということです。「防災」の難しいところは、防災活動をやらなくても普段の生活を不自由なく過ごせる点にあります。仕事・子育て・介護など、日頃の生活を送ることにみんな精一杯で、防災が大切であるという認識はあるものの、そこから行動に移す一歩を踏み出せないというのが本音ではないでしょうか。

自主防災組織の活動は地形、災害種別、年齢層、建物の築年数などの様々な要因が複雑に絡み合うため、地域によって活動目的や内容は大きく異なり、活動を定義付けることは困難ではありますが、今回のアンケート結果をご覧いただき、地域の防災活動を見直す、または始める「きっかけ」としていただければ幸いです。

結びとなりますが、このアンケート結果がお住いの地域の安全・安心の一助となることをご祈念いたします。

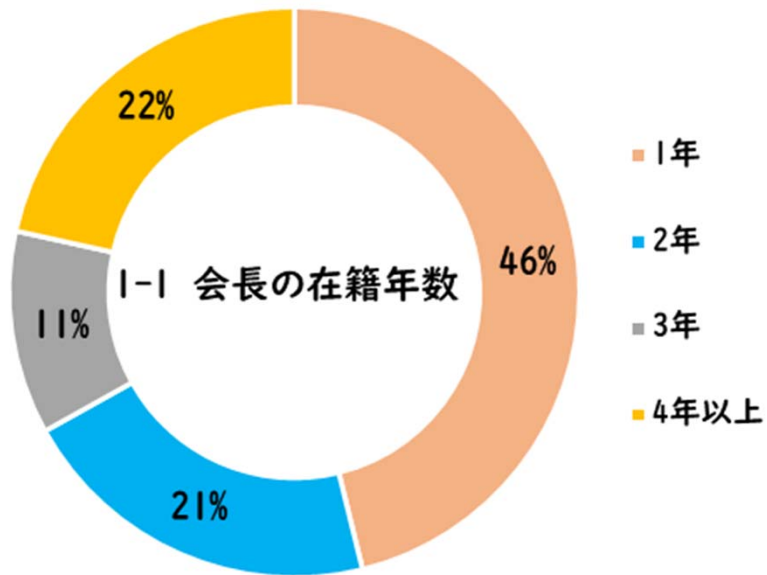
自主防災組織連絡協議会会長 武手木 守

アンケート概要

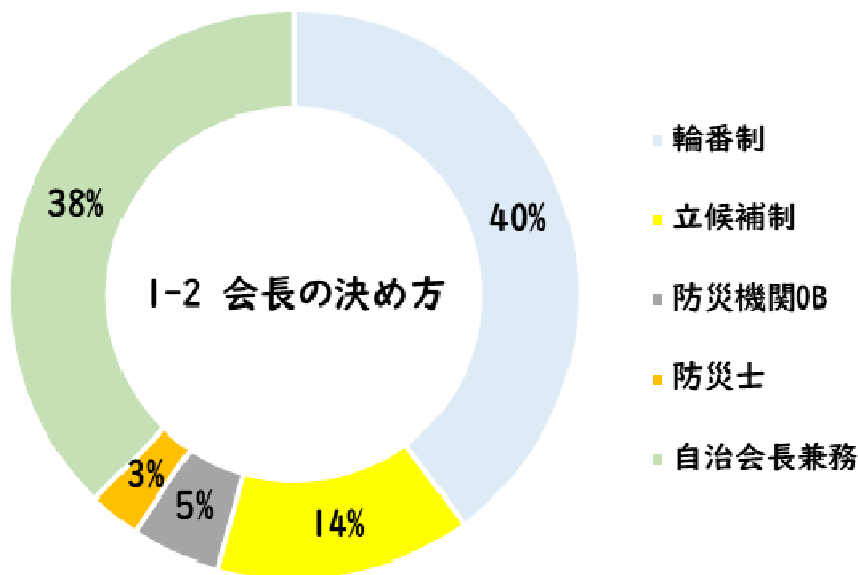
- ・アンケート対象者 …177名
(令和元年度龍ヶ崎市内自主防災組織長の皆さま)
- ・アンケート実施方法… アンケート用紙を郵送し、アンケート記入後に郵送によりご返送いただく。
- ・アンケート回答件数…130件(回答率73.4%)

アンケート内容

- 自主防災組織の組織・体制について(1-1～1-5)
- 自主防災組織の活動について(2-1～2-3)
- 情報収集・伝達体制について(3-1～3-3)
- 防災訓練について(4-1～4-5)
- 防災計画(活動マニュアル等)について(5-1～5-4)
- 防災マップについて(6-1～6-4)
- 今後の自主防災会・住民の取組みについて(7-1～7-3)

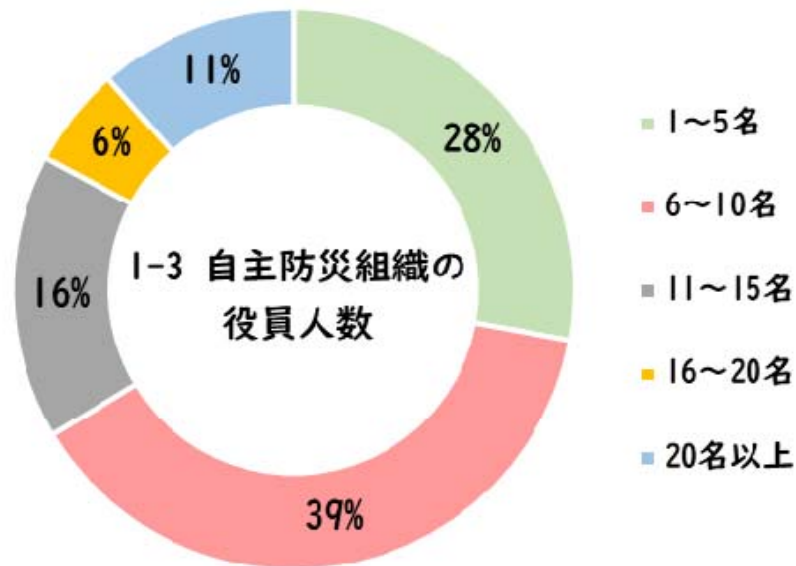


会長の任期は、約半数の地域が「1年」という結果となりました。特に北竜台地区は大半の地域が1年任期で会長職を担っていただいています。任期が「長い・短い」ことは双方ともにメリット・デメリットがあると考えます。地域の实情に沿って会長の任期をお考えください。



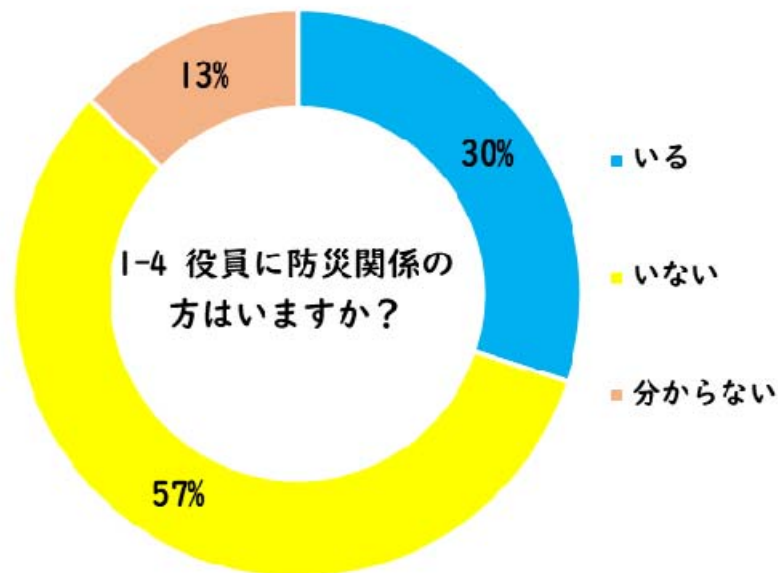
「輪番制」・「自治会長兼務」が約8割を占める結果となりました。

「自治会長兼務」に関しては自治会内の合意形成を得やすいという利点がある反面、「防災」という地域の安全・安心を確保する重要な役割を、自治会長が担うことによる負担増が懸念されます。そのような観点から、「会長以外の協力者」の存在が重要であると考えます。



自主防災会役員の構成は6~10名が約4割、次いで1~5名という結果となりました。6~10名と回答された方は、おそらく自治会内の班長の人数に由来するものと推察されます。

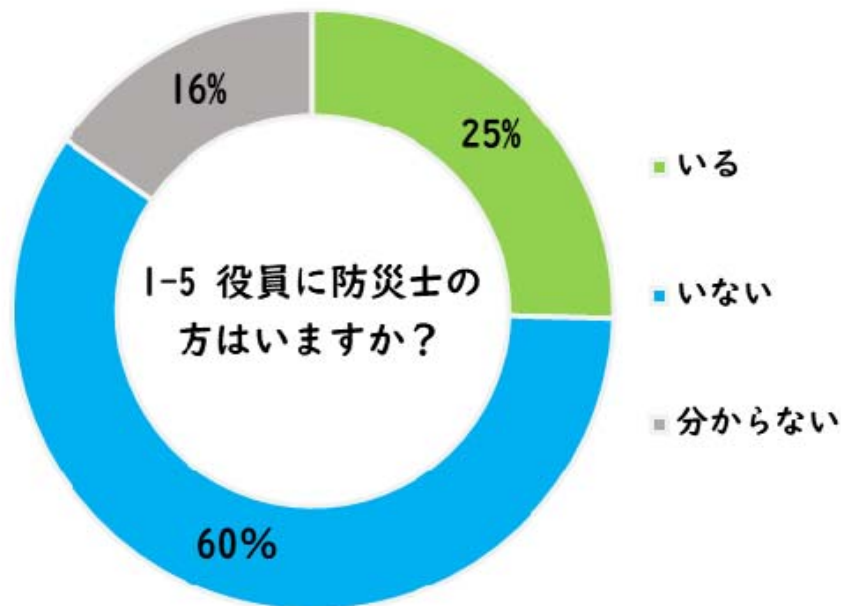
10名程度の役員で地域の安全・安心を確保することは困難ですので、役員だけではなく「みんなで」まちの安全・安心を高める意識を持つことが何より重要です。



地域の中に消防団や防災機関OBがないという回答が約6割を占めました。

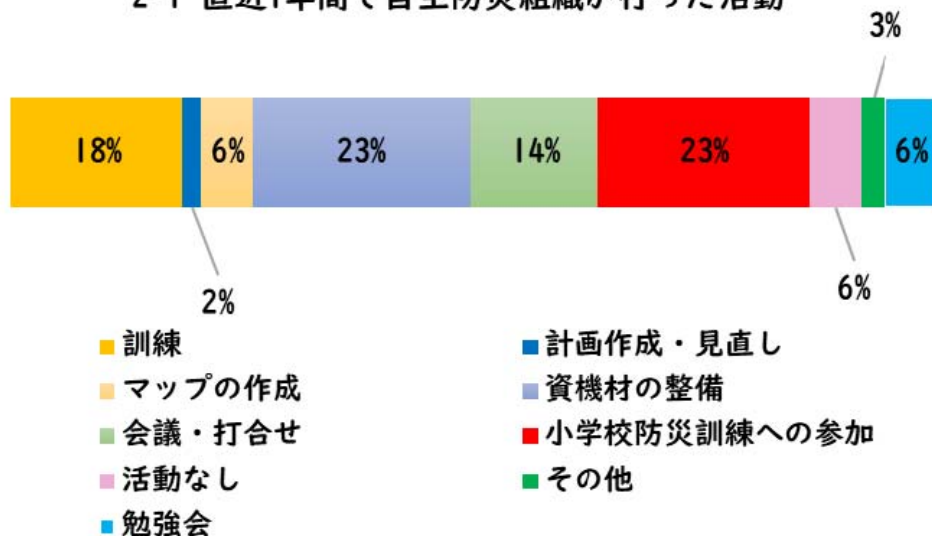
防災関係機関や企業で安全・危機管理を担当されていた方は防災について知識・経験が豊富ですので、ぜひ継続的に役員を務めていただくと、地域防災力向上に有効であると考えます。

ただし、市でも地域の中に防災機関などに務めている方（務めていた方）は把握していませんので、地域のお話合いの中で見つけなければなりません。

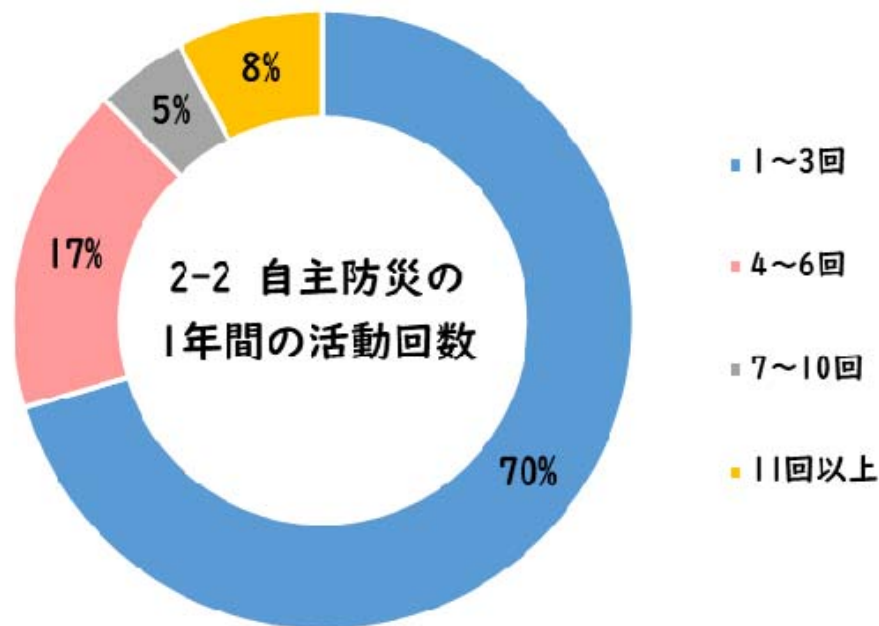


防災士とは「一定の知識・技能を備え、日本防災士機構が認証した方」です。市では約130の住民自治組織に防災士がいるということ把握していますが、役員を担っている防災士が25%というのは少しさみしい数字です。市では地域への情報開示に同意いただいている方の名簿をご用意しておりますので、防災士の協力を得たいとお考えの場合は市にご連絡ください。

2-1 直近1年間で自主防災組織が行った活動



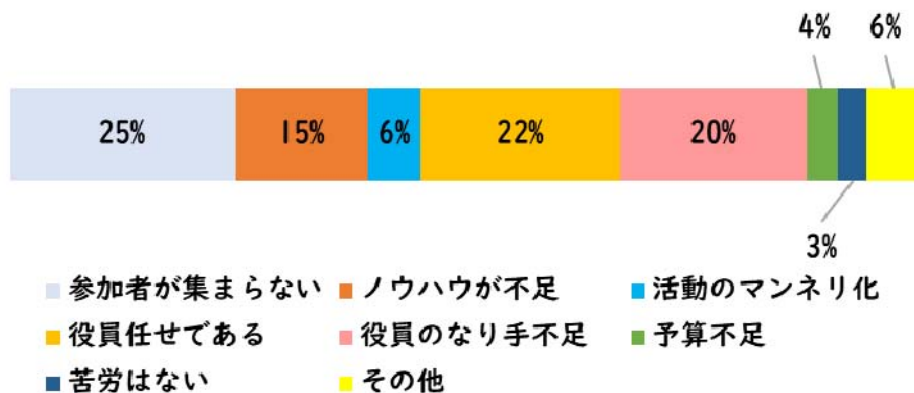
自主防災組織の活動としては、訓練（自治会単位・小学校単位）の実施がもっとも多く、次いで防災資機材の点検・整備となりました。趣味や家庭の時間を割いて、自主防災組織の活動にご尽力いただいていることに深く感謝申し上げます。欲を言えば、防災マップやマニュアルの作成・見直しがもう少し高まると、災害時の行動が具体化すると考えています。



年間における自主防災組織の活動回数は1~3回という地域が大多数を占めました。もしかしたら、役員だけの打合せや資機材購入のための買出しなどを含めると、実際の活動回数はもう少し多いのかもしれませんが。

防災訓練などのイベント系は年1回かもしれませんが、日頃から打合せや情報交換を密にすることで、災害時の初動対応に大きな違いを生み出します。

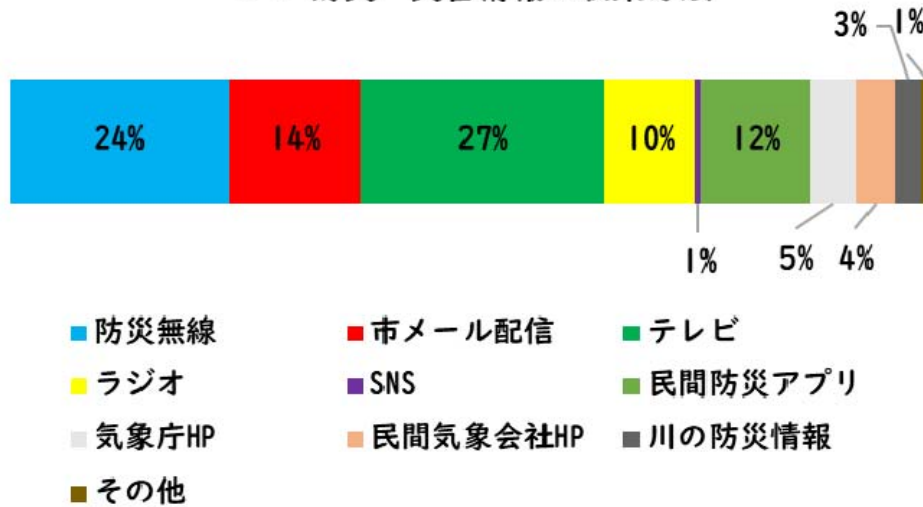
2-3 自主防災活動で苦勞していること



苦勞している点としては、参加者が集まらない・役員任せ・役員のみ手不足が挙げられました。このような課題は地域に偏りなく寄せられているご意見で、市としても認識していることです。

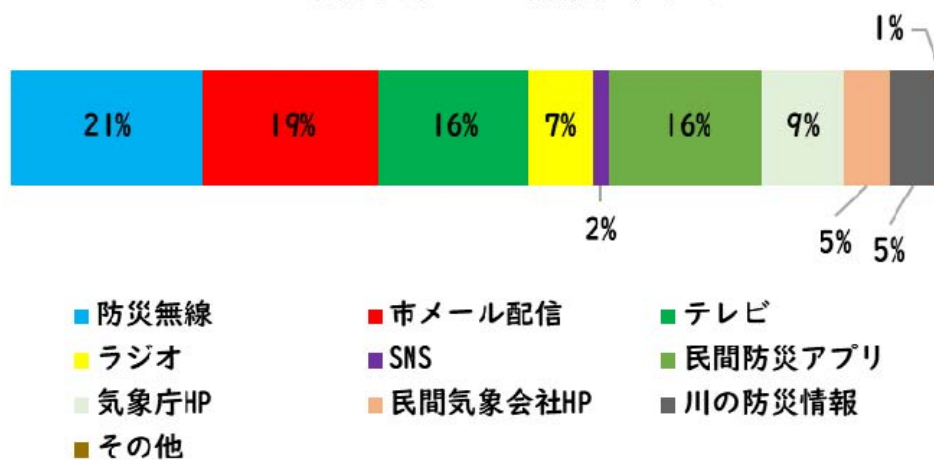
一朝一夕でこのような課題が解決することはありませんので、「みんなで」地域の安全・安心を守るという意識をもち、活動に取り組むことで、自然と活動の主軸となるような人材育成（発掘）が進むことが理想と考えます。

3-1 防災・災害情報の収集方法

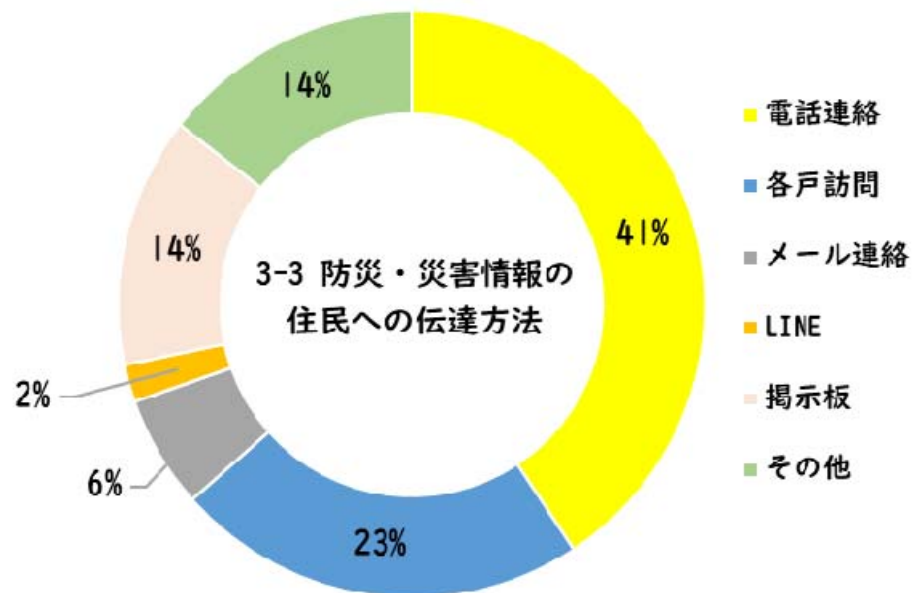


災害時の情報収集方法としては一番にテレビ、次いで防災無線という結果となりました。テレビと防災無線の共通点としては、「登録不要」で情報が自動で入ってくる媒体であるということです。情報収集は大きく、「入ってくるもの」と「取りに行くもの」の2つに分けることができます。「取りに行くもの」としては、市メール配信サービスや各種アプリなどがありますので、ぜひ活用をご検討ください。

3-2 今後活用したい情報収集方法



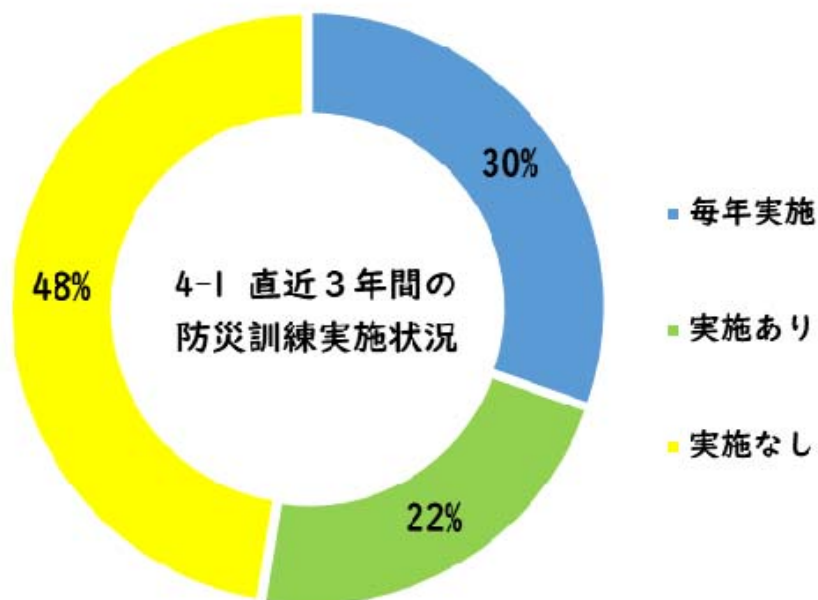
3-1と関連する質問で、今後活用したい情報収集方法としては、市メール配信サービス、民間防災アプリ、気象庁HPなどを検討する意見が寄せられています。市としましても、これらの媒体で取得できる情報や操作方法について広報だけにとどまらず、お手持ちの携帯電話やスマートフォンを使った操作説明会などを実施し、災害時の備えを強化していきたいと考えています。



住民への情報伝達方法としては最も多い回答が電話連絡、次いで各戸訪問という結果となりました。

ご存じのとおり、地震災害時には電話連絡は不通となる可能性が高いため、メールやLINEなどの別手段も検討しておくことをお勧めします。このようなツールは普段の連絡網としても有効であると思われます。

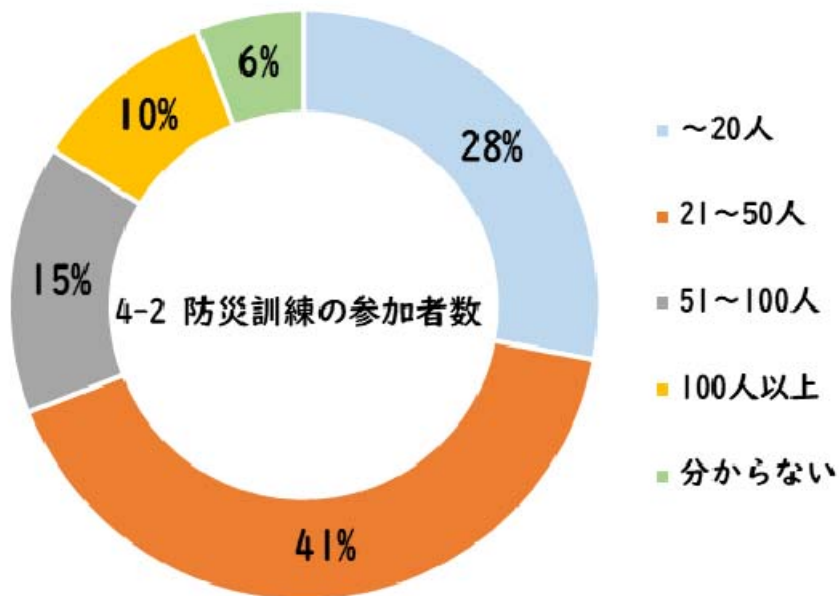
また、NTTが提供する「災害時伝言ダイヤル」も緊急時には役立つかもしれません。



約半数の地域が直近3年間で防災訓練を実施いただいております。非常に心強く感じるところであります。

住民の皆さまは、日常生活の中で「防災」を考える機会はそれほど多くはないと思いますので、定期的に防災訓練を実施することで、住民の防災意識を啓発する効果が期待されます。

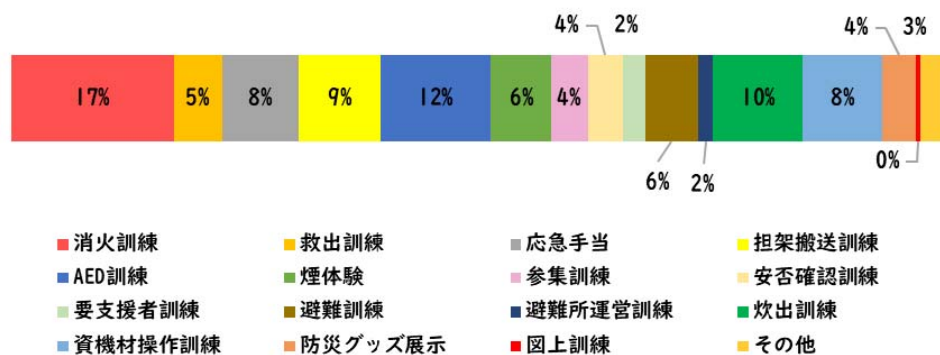
開催時期としては、気候などの影響から、秋に実施する地域がほとんどです。



防災訓練の参加者は、21～50人が最も多く、次いで20人以下という結果となりました。自治会の人数によりますので一概に多い・少ないは申し上げられませんが、年に1度の地域がほとんどですので、もう少し参加者が増えてほしい…という気がしています。

防災訓練を単独で実施すると役員・参加者双方の負担感が大きくなりますので、例えば清掃活動の後に訓練を実施すると参加者を集めやすいかもしれません。

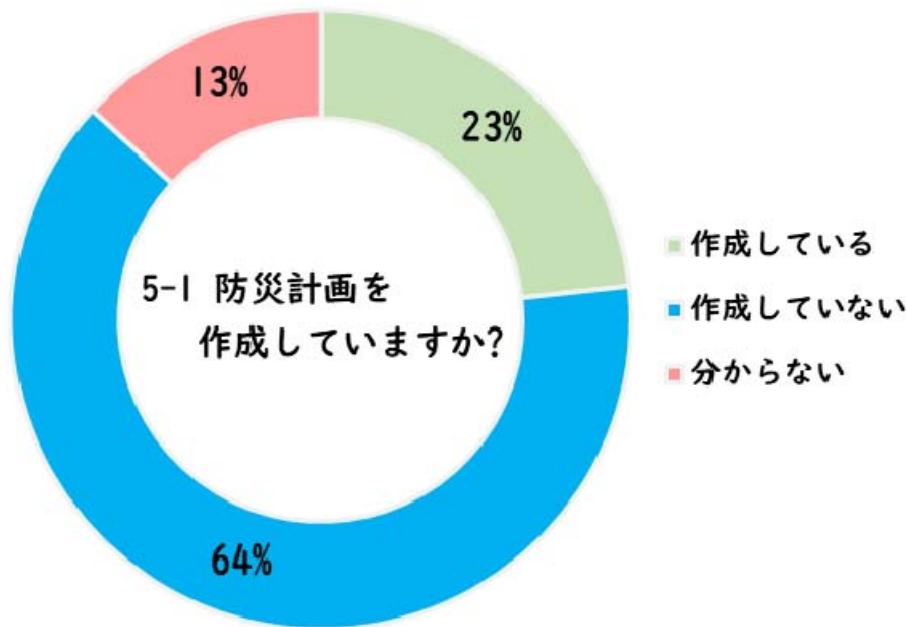
4-3 実施した防災訓練の内容



グラフをご覧のとおり、自治会内で検討いただき様々な訓練を実施いただいております。

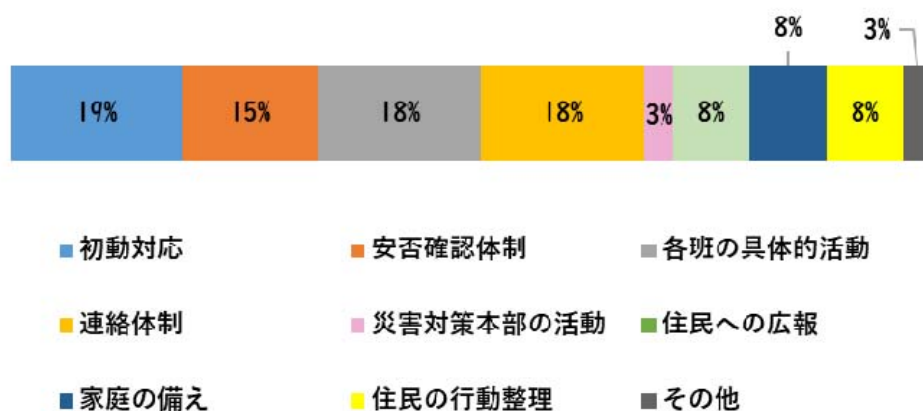
訓練内容や進め方については、毎年市が作成している「防災訓練実施マニュアル」をご参考ください。

よくある問合せで、「訓練のマンネリ化」というお話をいただきます。もし、毎年実施している訓練内容を変えたい場合や、取組みたい訓練がある場合は、遠慮なく市にお問合せください。

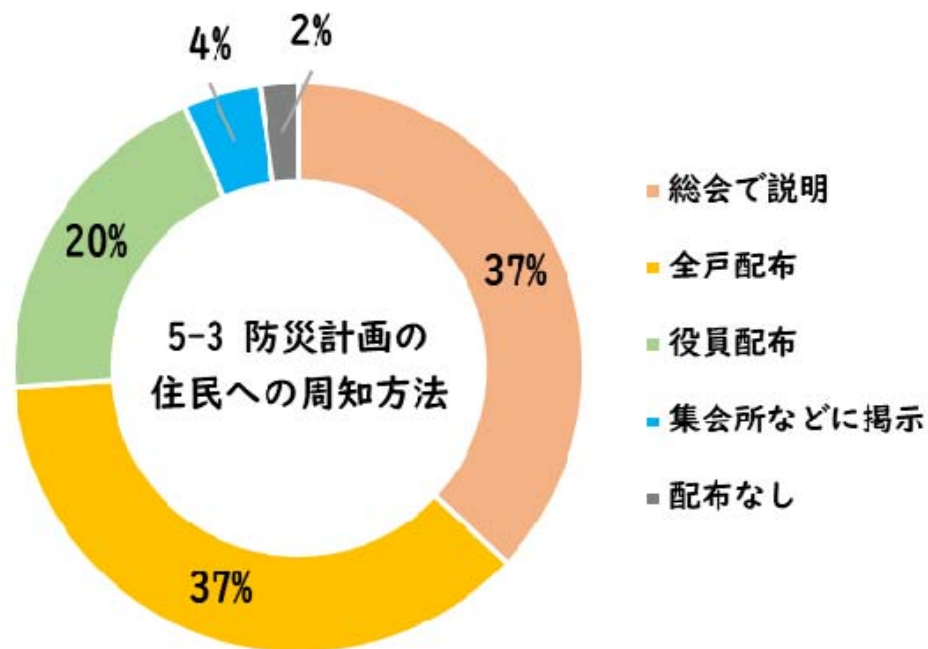


発災時の防災計画（マニュアル）を作成している自治会は少ない結果でした。防災計画を作成することで、発災時の初動体制の構築以外にも、平常時における地域の危険個所把握や備蓄等の備えを強化することができます。また、計画を住民が共有することで地域の防災意識を向上する効果も期待されます。令和2年5月に発行した「自主防災組織活動の手引き」に作成例を掲載しましたので、それを基にぜひ作成ください。

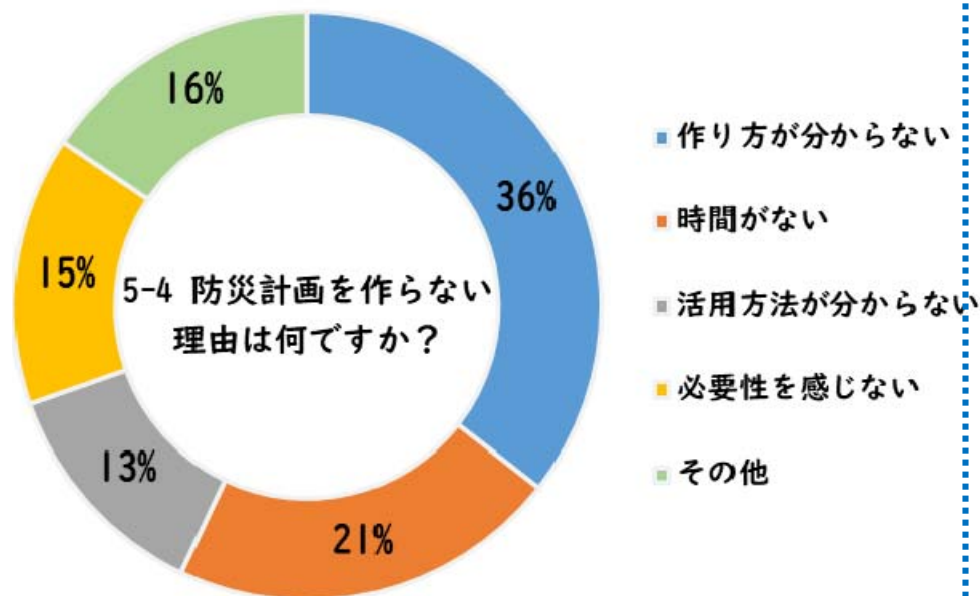
5-2 防災計画に盛り込んでいる内容



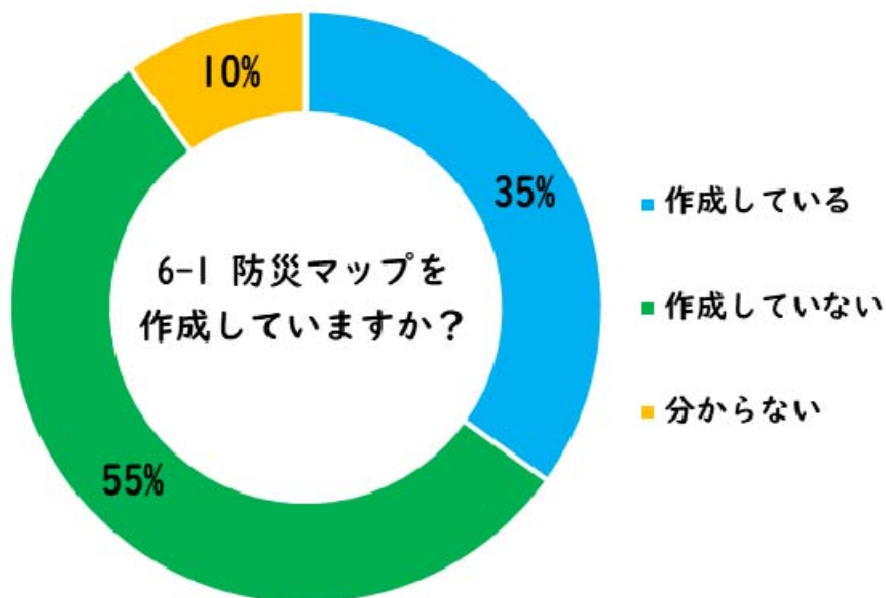
すでに防災計画を作成している地域においては、初動対応、安否確認体制、各班の具体的内容、連絡体制を記載している地域が多いです。いずれも必須の項目であり、要点を押えている点においては感心するところです。計画作成で重要なことは、「いつ・誰が・どのように」実施するかを明確にすることです。いざ災害が発生すると、必ずしも計画どおりに事が進むわけではありませんが、混乱は少なからず軽減できるはずで



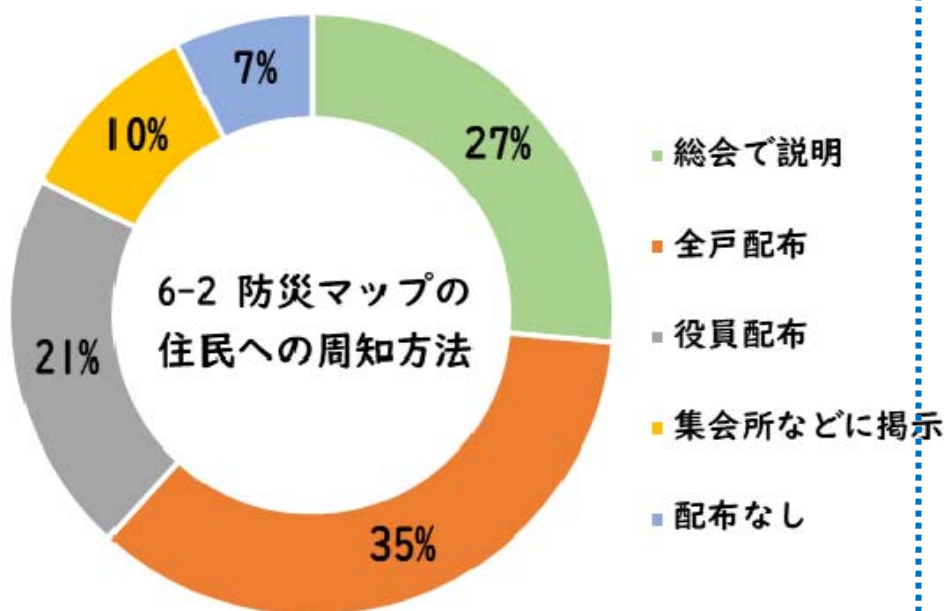
計画作成後は、総会での説明や全戸配布などにより情報を共有している地域が多いようです。計画は作ることが目的ではなく、その地域に住む住民が理解・共有することが目的となりますので、素晴らしい取り組みだと思います。さらに、防災訓練終了後や他県などで大きな災害が発生したタイミングで計画を見直しすると、より実践的な計画へと進化すると思います。



防災計画を作成していない理由としては「作り方が分からない」という回答が最も多い結果となりました。このアンケート結果を踏まえ、市では令和2年5月に「自主防災組織活動の手引き」を発行し、防災計画（マニュアル）作成を重点的に記載しました。その中で計画の一例をお示ししましたのでご活用ください。その他、ご質問などがありましたら市までお問合せください。

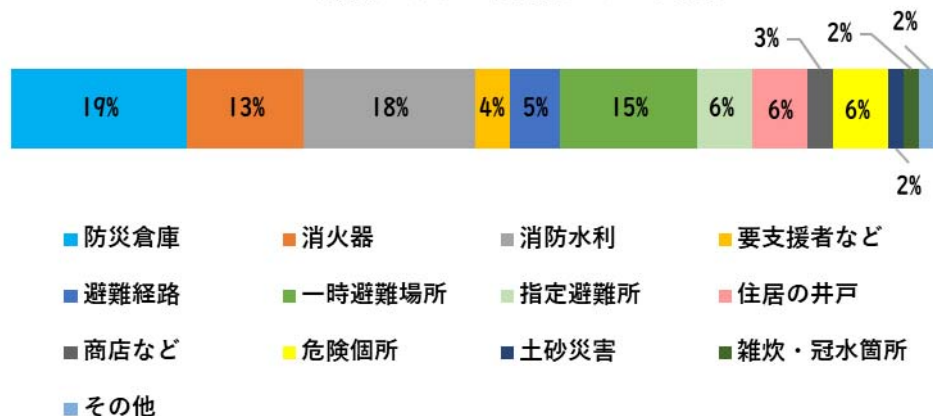


防災マップを作成している地域は約1/3程度であることが分かりました。一般的に防災マップに記載する内容としては、発災時の集合場所、消防水利、防災倉庫などであり、これらの内容を網羅し、図面化する作業はさほど手間ではないと考えています。市では自治会に提供できる図面等のご用意や作成のアドバイスもできますので、作成をご検討の際は市にご連絡ください。



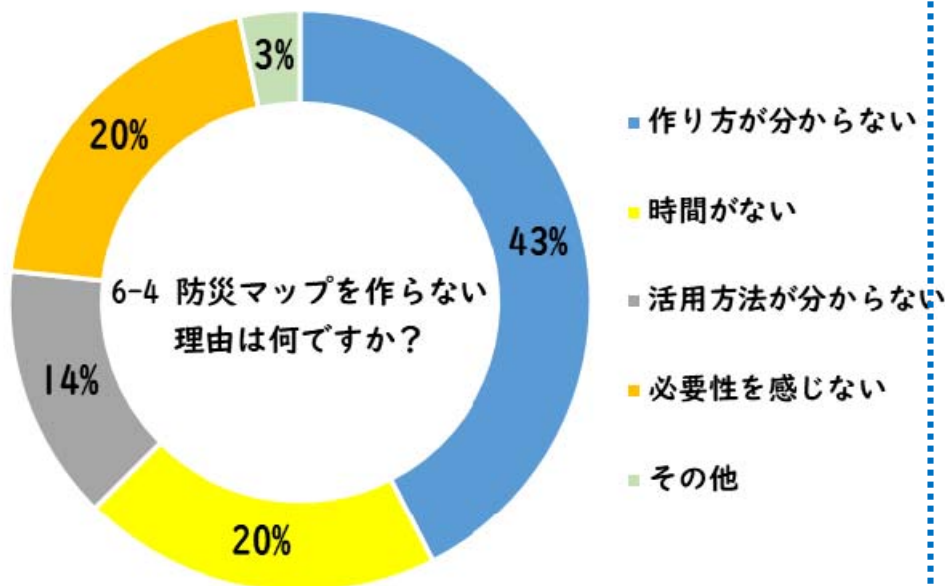
既に作成している地域の多くは、防災計画と同じく、総会での説明や全戸配布などにより情報を共有している地域が多いようです。防災マップの周知方法としては「全戸配布」がおすすめです。理由としては、住民の住環境や生活スタイルによって防災マップに記載しておくべき内容は異なりますので、まちの基本情報を記載したマップを配り、そこに各家庭で必要な情報を記入することができるからです。

6-3 防災マップに記載している内容



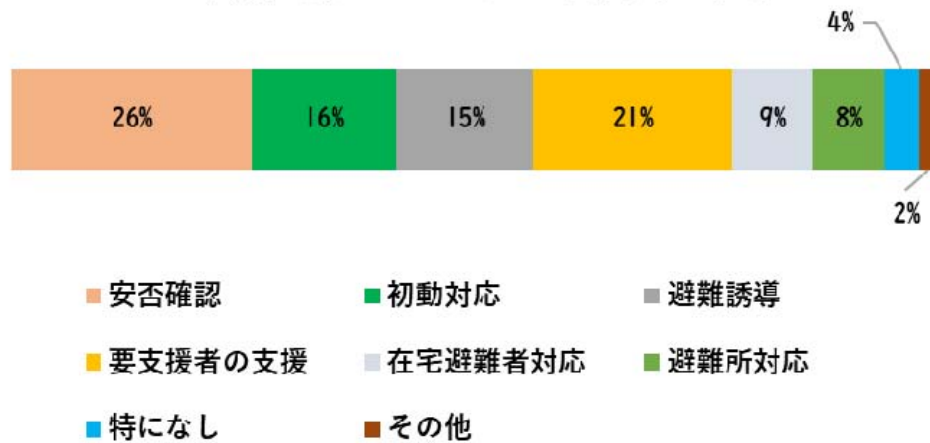
既に防災マップを作成している地域では、防災倉庫・消火器・消防水利・一時避難場所などを記載しているようです。地域によっては住民の同意を得たうえで家庭の井戸をマップに記載している場合もあります。その他としては、地域内または近接にある事業所と災害時の協力体制を構築し、マップに記載することも有効と考えます。

6-4 防災マップを作らない理由は何ですか？



防災計画と同様に、防災マップを作らない理由としては「作り方が分からない」が最も多く、次いで「時間がない」、「必要性を感じない」との回答が寄せられました。「作り方が分からない」、「時間がない」は市で防災マップの素になる図面提供とアドバイスをいたしますので、作成を検討する場合はぜひご連絡ください。防災マップは各家庭で防災について考える「きっかけ」ともなりますので、作成をご一考いただければと思います。

7-1 今後、強化していきたい発災時の活動

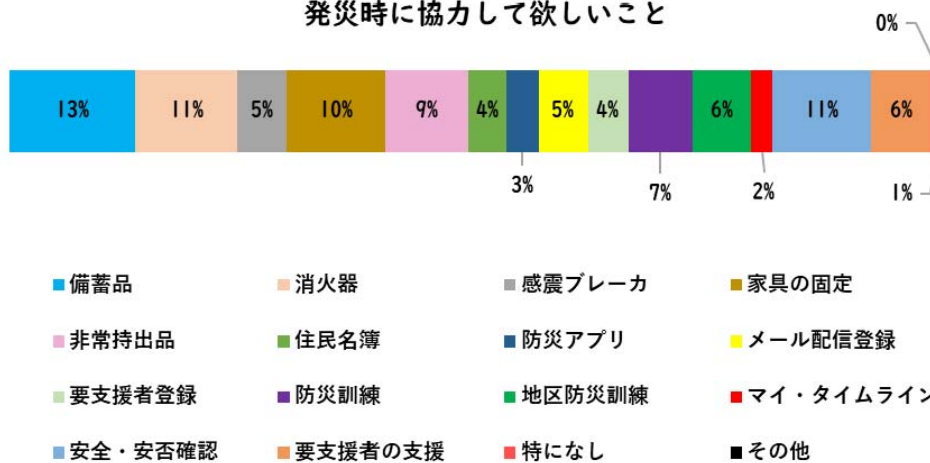


今後強化していきたい活動としては、「安否確認」が最も多く、次いで「要支援者の支援」、「初動対応」、「避難誘導」の順になりました。

「安否確認」、「要支援者の支援」は重要である反面、個人情報を伴う内容になりますので、取り組みに慎重となる部分があると推察されます。

市でも明確な回答を持ち合わせておらず、恐縮ではありますが、「みんなで助け・助けられる」風土があれば取り組みが進むと思います。市も共に考えていきます。

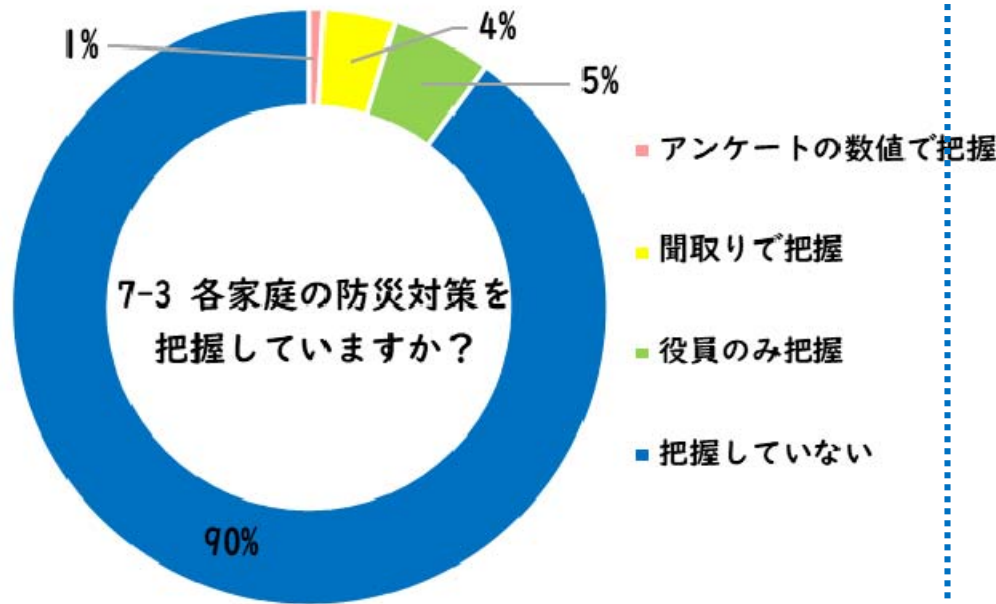
7-2 今後、住民に備えてほしいこと、発災時に協力してほしいこと



今後住民に備えてほしい内容は、突出する項目が出てくると想定していたのですが、グラフで示すと、横一線の結果となりました。

これらの住民ニーズを単年で満足させることはほぼ不可能ですので、年度当初に重点目標を定めて活動していくことが必要であると感じています。

重点目標は住民アンケートなどにより意見を吸い上げることで、よりニーズに沿った活動を実施できると思います。



各家庭の状況を把握している自治会はほとんどいないという結果になりました。平成31年に実施した市民アンケートでは38.7%の方が水・食糧を備蓄しているという結果が出ており、また平成26年に実施したWEBアンケートでは家具の転倒防止対策は全ての家具固定を実施している方は13.6%、一部のみ実施している方が53.2%となっています。まずは役員のご自宅の防災対策から見直してみましょう。

おわりに

「まちの安全」を考えた時に、地域の防災活動は役員だけではなく、住民全員が災害に対してある程度の備えが必要となります。

“住民の防災意識を高める”と言うことは簡単ですが、達成させるためのハードルが高いことは、地域で主体となって活動する皆さまは十分ご承知のことと思います。住民ひとり一人の防災意識が自然に高まるとは考えにくいいため、そこで重要な役割を果たすのが住民の共同体である自主防災組織です。

自主防災活動に正解はありませんが、今回のアンケートを役員さんで共有いただき、まちの防災について話し合う「おつまみ」となれば嬉しいです。



アンケート用紙(全4枚)

自主防災組織活動に関するアンケート

自主防災組織名: _____

記入者: _____

連絡先: _____

各自主防災組織の現状把握や活動の課題を抽出し、今後の自主防災組織活動の支援や市の施策の参考にしたいと考えておりますので、アンケートにご協力いただきますようお願いいたします。

なお、アンケート結果については、集計後に郵送にてご報告するとともに、市ホームページで公表します。

1. 自主防災組織の組織・体制について

(1) 会長の在籍年数を以下からお選びください。

1年 2年 3年 4年以上

(2) 会長の決め方を以下からお選びください。(複数回答可)

輪番で回ってくる 立候補制 防災機関OBが歴任 防災士が歴任
 その他 [_____]

(3) 自主防災組織の役員(会長、副会長、班長など)は何名ですか？

()名

(4) 役員の中に消防団や防災機関(消防・警察・自衛隊OB等)の方はいますか？

いる()名 いない 分からない

(5) 役員の中に防災士の方はいますか？

いる()名 いない 分からない

2. 自主防災組織の活動について

(1) 直近1年間で自主防災組織が行った活動を教えてください。(複数回答可)

防災訓練 防災勉強会 防災計画の作成・見直し 防災マップの作成・見直し
 防災資機材の整備 組織内の会議・打合せ 地区防災訓練への参画 活動なし
 その他 [_____]

(2) 自主防災活動(防災訓練・勉強会・防災会議・打合せなど)の1年間の活動回数を教えてください。

()回/年

(3) 自主防災活動で苦労している点がありましたら教えてください。(複数回答可)

参加者が集まらない 企画・実施するノウハウが不足している 活動がマンネリ化
 役員任せになっている 役員のなり手がいない 予算がない 苦労していることはない
 その他 [_____]

3. 情報収集・伝達体制について

(1) 防災・災害情報の収集方法として活用しているものがあれば教えてください。(複数回答可)

防災行政無線放送 龍ヶ崎市メール配信サービス テレビ ラジオ
 Twitter Facebook 防災アプリ(Yahoo!防災速報、NHKニュース・防災など)
 気象庁HP 民間気象会社のWEBサイト(ウェザーニュースなど) 川の防災情報
 その他 [_____]

(2) 防災・災害情報の収集方法として今後活用したいものがあれば教えてください。(複数回答可)

防災行政無線放送 龍ヶ崎市メール配信サービス テレビ ラジオ
 Twitter Facebook 防災アプリ(Yahoo!防災速報、NHKニュース・防災など)
 気象庁HP 民間気象会社のWEBサイト(ウェザーニュースなど) 川の防災情報
 その他 [_____]

(3) 防災・災害情報を自治会内の住民に伝達する方法として現在活用しているものを教えてください。(複数回答可)

自治会連絡網等による電話連絡 各戸訪問による口頭連絡 自治会内のメール連絡
 自治会内のグループLINE 自治会掲示板などによる情報伝達
 その他 [_____]

4. 防災訓練について(小学校区単位の防災訓練は除きます)

(1) 直近3年間で自主防災組織として防災訓練を実施しましたか？

毎年実施している 実施した年度もある 直近3年は実施していない

【(1)で「毎年実施している」または「実施した年度もある」を選んだ方にお聞きます】

(2) 防災訓練の参加者数(平均)を教えてください。

20人以下 21~50人 51~100人 100人以上 分からない

【(1)で「毎年実施している」または「実施した年度もある」を選んだ方にお聞きます】

(3) 防災訓練の内容を教えてください。(複数回答可)

初期消火訓練 救出訓練 応急手当訓練 簡易担架訓練 AED訓練 煙体験訓練
 発災時役員参集訓練 安否確認訓練 要支援者支援訓練 一時避難・避難訓練
 避難所運営訓練 炊出し訓練 資機材操作訓練 防災グッズ展示 災害時図上訓練
 その他 [_____]

【(1)で「直近3年は実施していない」を選んだ方にお聞きます】

(4) 防災訓練を実施しなかった理由を教えてください。(複数回答可)

訓練の企画や進め方が分からない 住民への周知が大変 準備が大変 忙しいから
 訓練にマンネリを感じている これまで実施してこなかったから 必要性を感じていない
 その他 [_____]

【(1)での回答に関係なくお聞きします】

(5)今後取り組みたい訓練、必要性を感じている訓練があれば教えてください。(複数回答可)

- 初期消火訓練 救出訓練 応急手当訓練 簡易担架訓練 AED訓練 煙体験訓練
発災時役員参集訓練 安否確認訓練 要支援者支援訓練 一時避難・避難訓練
避難所運営訓練 炊出し訓練 資機材操作訓練 防災グッズ展示 災害時図上訓練
その他

5. 防災計画(活動マニュアル等)について

(1)自主防災組織の発災時の活動について防災計画を作成していますか?

- 作成している 作成していない 分からない

【(1)で「作成している」を選んだ方にお聞きします】

(2)防災計画に盛り込んでいる内容を教えてください。(複数回答可)

- 発災時の初動対応 安否確認体制・方法 各班(消火班・情報班等)の具体的な活動内容
災害時の連絡体制 地区災害対策本部の活動内容 住民への広報活動
家庭での平時の備え 災害発生時の住民行動の優先順位
その他

【(1)で「作成している」を選んだ方にお聞きします】

(3)防災計画の住民への周知方法を教えてください。(複数回答可)

- 総会等で説明 全戸配布 役員配布 集会所などに掲示 配布していない

【(1)で「作成していない」または「分からない」を選んだ方にお聞きします】

(4)防災計画を作らない理由を教えてください。(複数回答可)

- 作り方が分からない 時間がない 活用方法が分からない 必要性を感じていない
その他

6. 防災マップについて

- 防災マップ…居住区域内で災害時に役立つものや危険なものを住民が主体となって作成した地図のことで、行政が作るハザードマップとは違います。

(1)防災マップを作成していますか?

- 作成している 作成していない 分からない

【(1)で「作成している」を選んだ方にお聞きします】

(2)防災マップの住民への周知方法を教えてください。(複数回答可)

- 総会等で説明 全戸配布 役員配布 集会所などに掲示 配布していない

【(1)で「作成している」を選んだ方にお聞きします】

(3)防災マップに記載している内容を教えてください。(複数回答可)

- 自主防災倉庫 消火器設置場所 防火水槽・消火栓 安否確認希望者(要支援者含む)
避難経路 一時避難場所 指定避難所 住民宅の井戸 スーパー・コンビニ・商店など
ブロック塀等の危険箇所 土砂災害が想定される斜面 増水・冠水が想定される水路・箇所
その他

【(1)で「作成していない」または「分からない」を選んだ方にお聞きします】

(4)防災マップを作らない理由を教えてください。(複数回答可)

- 作り方が分からない 時間がない 活用方法が分からない 必要性を感じていない
その他

7. 今後の自主防災会・住民の取り組みについて

(1)今後、自主防災会として強化していきたい発災時の活動を教えてください。(複数回答可)

- 地震発生直後の全世帯の安否・安全確認 地震による出火があった時の初期対応
地震・水害・土砂崩れなどによる危険がある時の避難誘導 発災時の要支援者への支援
被災後の在宅避難者の生活支援 被災後の避難所での被災者の生活支援 特にない
その他

(2)今後、住民に備えて欲しいこと、発災時に協力して欲しいことを教えてください。(複数回答可)

- 5日以上の備蓄(飲料水・食品など) 家庭用消火器の備え 感震プレーカーの備え
自宅の家具の固定 避難時持出品の備え 住民名簿の届け出(自治会・自主防災会管理)
防災アプリの利用 市メール配信サービスの登録 要支援者の登録(市へ申請)
自主防災会主催の防災訓練 地区主催の防災訓練 マイ・タイムライン作成研修
地震発生時のご近所の安全・安否確認 危険がある時の要支援者への支援 特にない
その他

(3)各家庭の家具の転倒防止対策や備蓄状況などを把握していますか?

- アンケートを実施し数値で把握している 総会などでの聞き取りで把握している
役員だけの状況は把握している 把握していない

8. その他

地域で防災活動を行うにあたっての疑問や相談事項がありましたら自由にご記入ください。

◎以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。